

ベイトウンマネジメント円卓会議NEWS 第2号

平成25年1月12日発行

■ベイトウンマネジメント円卓会議の活動報告

幕張ベイトウンの美しい街並み・景観や高水準の公共施設等の優れた住環境を維持していくため、平成23年6月、地域住民によるまちづくりを考えていくための組織として「幕張ベイトウン協議会」が発足しました。

協議会では、県企業庁の事業終息を見据え、県や市等との「住宅地区の管理・運営のあり方研究会」を再開し、県から市へのごみ空気輸送システムなどのインフラ移管などの諸問題についての協議などを重ねてきました。また、幕張ベイトウンでは従来より各種団体が活発なまちづくり活動を行ってきましたが、団体間の連携をより一層強化し、まちの課題の共通認識を図りながらまち全体での課題解決を目指すため、千葉県の「連携・協働による地域課題解決モデル事業」の指定を受けて「ベイトウンマネジメント円卓会議」の取組みを始めました。

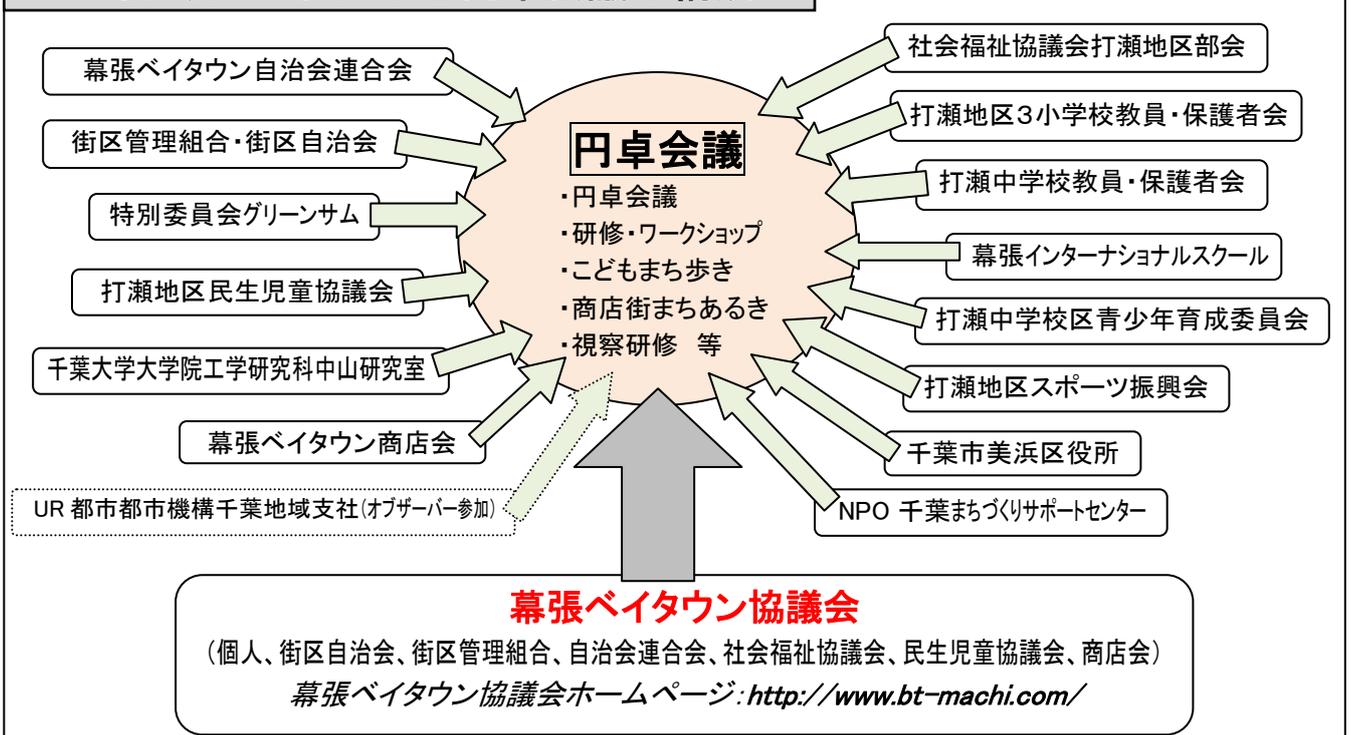


<10/20 第4回円卓会議>

平成23年7月の第1回円卓会議開催後、毎月1回の会議を開催し、平成25年1月26日(土)の第7回円卓会議をもって平成24年度分の開催を終了する予定です。会議体【下図参照】は、幕張ベイトウン協議会を中心とする幕張ベイトウンのステークホルダー団体と、千葉市・NPO 法人千葉まちづくりサポートセンターなどで構成しています。幕張ベイトウンの美しい街並み・景観や高水準の公共施設の優れた住環境を維持していくなど、住民によるまちづくりを考えていくための会議です。円卓会議の正式な発足に先行して円卓会議準備会を4月にキックオフして、まずワークショップの形でステークホルダーが抱えているまちの課題を出し合いました。協議会や自治会連合会等が考えている課題と、一般の住民の方が感じていることに乖離はないか確認するとともに、住民意識の把握や住民が考えているまちの課題を掘り起こすために「住民アンケート」を実施しようということになりました。

また、千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻中山研究室の学生たちが、建築の立場から幕張ベイトウンのまちづくりを研究したいという企画があり、両者が協働してアンケートを計画しました。関係者が何度も質問内容を練り、8月にベイトウンの8,431戸へ配布・回収しました。アンケート結果の概要は、3頁をご覧ください。また平成25年1月19日(土)開催の「まちづくりシンポジウム」で結果を報告します。

ベイトウンマネジメント円卓会議の構成



■ベイトウンマネジメント円卓会議の取組み（1）

「商店街の活性化」に関して、8/15（土）に「商店街まち歩きワークショップ」を開催し、商店街をあらためて歩きました。旧住宅・都市整備公団で幕張ベイトウンの計画に携わった泉講師による集合住宅地における商店街のあり方に関するレクチャーのほか、ミニワークショップにおいて山根商店会長のプレゼンテーションや商店街における課題の抽出などを行いました。

<8/15 商店街まち歩きワークショップ>



また、幕張ベイトウンは住民の平均年齢が若く、こどもや子育て世代が多いまちです。学校と地域のつながりや、こどものまちづくり活動への参加に関して不足する部分もあるのではということから、10/28（日）に「こどもまち歩きワークショップ『ベイトウンこども探検隊』」を開催しました。地区の4小中学校の協力を得て約40名の小中学生が参加し、まちの様々なスポットを歩いたほか、まちづくり活動を行っている地域住民の話を直接聞くなどして幕張ベイトウンのまちをあらためて知ることで、自分たちの住んでいるまちへの愛着が高まり「わたしたちもまちで何かしたい」という想いも生まれてきました。1月19日（土）のシンポジウムで「こどもたちによるまちづくりに関する発表」があります。

<10/28 ベイトウンこども探検隊>



■ベイトウンマネジメント円卓会議の取組み（2）

円卓会議では、会議の他、マルチテックルダ-研修、ファシリテーション研修、組織・ファット・資金関係研修などを開催して組織基盤の強化を図ってきました。

組織・ファット・資金関係研修では、千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻小林秀樹教授をお招きし、「地域の『経営管理』に向けた組織のあり方」に関してレクチャーいただいたほか、参加者による意見交換を行いました。また、組織先進事例視察研修として、埼玉県狭山市の2つのNPO組織を訪問しました。活動状況をまちづくりの担い手の皆さんから直接お話しいただき、地域課題の解決や組織運営などに関する様々な意見交換を行い、協議会・円卓会議の今後の組織運営の参考としました。

<11/27 組織・ファット・資金関係研修>



<12/1 先進組織事例視察研修>



<11/17 ファシリテーション研修>



■ベイトウンマネジメント円卓会議の取組み（3）

・8月上旬に千葉大学工学研究科中山研究室と協働して、住民アンケートを実施しました。対象は打瀬1丁目から3丁目まで、幕張ベイトウンの8,431世帯にお願いし、2,150件の回答をいただきました。40代の回答が全体の41%と世代構成を反映したものとされます。

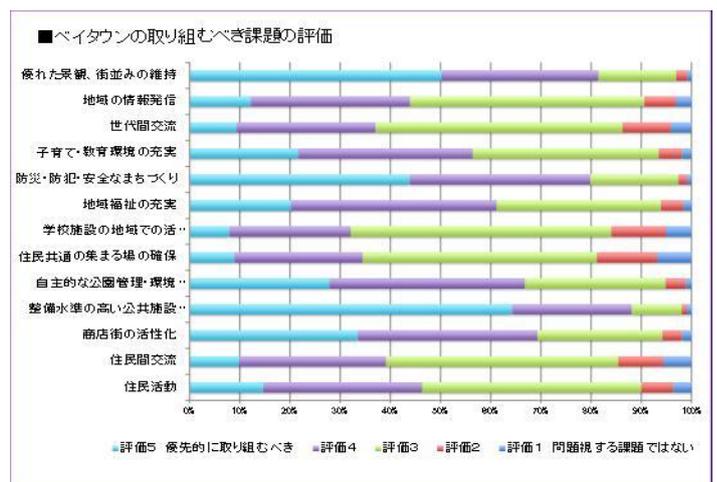
・まちへの愛着・関心度の問いには75%の人が満足・大いに満足との回答で、まちの評価については景観・街並みを理由とするものが94%と最も多く、住環境に満足しているということがうかがえます。次いで保育・学校施設の充実が62%と高く、人付き合い・地域活動についての理解や認識はやや低いものと見られます。防災・防犯についての意識は高く、商店街については多少不満・不満が32%あり、あったら良いと思う店について、例えば蕎麦屋、寿司屋、オープンカフェや書店など3,732件の意見がありました。



・ベイトウンで取り組むべき課題

最重要とするテーマは、整備水準の高い公共施設を維持管理すべきとの意見が最も多く、次いで優れた街並み景観の維持と安全なまちづくりの順でした。これらのことからして、円卓会議が取り組むべき課題は、まず現在の住環境を維持することであり、ゴミ空気輸送システムの継続管理を含め、計画デザインされた街を守って行くべきとの意見です。

また、美しい街並み景観の維持については、幕張新都心中心地区と同様に、千葉市の景観条例・景観形成推進地区の対象とするなど、デザインガイドラインに基づいて開発されたルールを継承していくことでしょう。

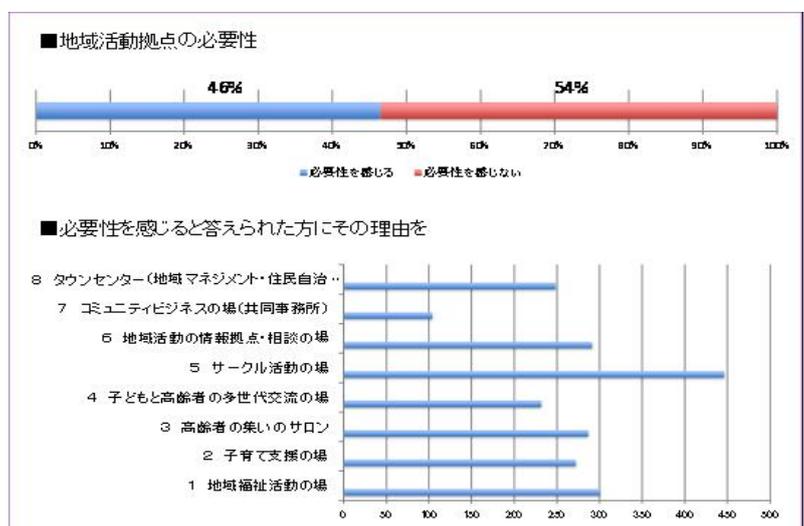


・自由記述の欄では、様々な意見が寄せられました。この内容は迷惑駐車・路上駐車マナー等に対する意見が最も多く寄せられ、まちの景観に関わるものが次に多く、生活のマナーや近所づきあいに関する記述や、ベイトウンの取組みについて論じた記述も少なくありませんでした。

・地域活動拠点の必要性

円卓会議では、狭山市のNPOの視察研修等を通じ、活動拠点の必要性が議論されましたが、アンケートでは46%が必要と答えたのに対し54%が不必要としています。これは内容的にも一般住民の意識と地域マネジメントを推進しようとしているステークホルダー代表の人の意見とギャップが見られます。

平成25年1月19日の（土）アンケート結果の報告を兼ねたシンポジウムでは、来場のみなさんとまちの課題について話し合おうと計画しています。



■活動拠点の確保について

幕張ベイタウン協議会は、今年度、千葉市と共同で行っている、県の「連携・協働による地域課題解決モデル事業」の円卓会議をモデル事業終了後も継続し、各ステークホルダーが協働で行う地域マネジメントや、連携して又は個別に行う福祉や地域活性化などの様々な公共・公益目的の地域活動の活動拠点として、旧打瀬子どもルームの転活用を千葉市及び県企業庁に要望し、協議を行ってきました。想定される利用概要は以下のとおりで、千葉市の理解・応援を受けて協議が整いつつあります。

○ 旧打瀬子供ルームの公共・公益目的での利用の概要（案）は次の通りです。

- ・千葉市と協働で行っている、「連携・協働による地域課題解決モデル事業」の円卓会議の活動拠点。
- ・円卓会議を構成するステークホルダーが、地域共通の目標の実現に向けて連携・協働して活動するための共用の集会所・会議室・事務作業等の場とする。
- ・住民の世代間交流や憩いの場として、高齢者や子育て世代、子どもたちの気楽で心地よい居場所をつくる。現行の障害者福祉の「ホットカフェ」の拡充など。
- ・各種公的な相談会、ボランティア講習会・講演会などに適時利用できる場とする。
- ・ベイタウン祭り、夏祭り、朝市などの各種屋外イベント等の本部とする。
- ・夜間災害時の地域内防災関係者の初動活動の集合拠点とする。
- ・青少年育成委員会の安全パトロールの集合・活動拠点とする。
- ・公的団体やステークホルダーの持っている共有資産や共有書類等の保管場所とする。
- ・「ちば市政だより市民配付モデル事業」の実施拠点とする。

■平成25年度の活動に向けて

幕張ベイタウン協議会では、県企業庁の事業終息を見据え、県企業庁・千葉市・住宅事業者と「幕張新都心住宅地区の管理運営のあり方に関する研究会」を再開し、公共施設の千葉市への移管等の問題について平成24年5月から協議を重ねてきました。ゴミ空気輸送システムについては、県企業庁が各街区管理組合理事長を集め説明会を開催しましたが、幕張ベイタウン協議会は、それを受けてベイタウン内で検討会を招集するとともに、県企業庁幕張新都心整備課管理室を事務局とした廃棄物空気輸送システム移管問題専門部会の設置を要望・実現した次第です。

次年度の円卓会議の活動では、これらの当面の課題やアンケート結果のまちの課題を、住民意見を収集しつつ、広くステークホルダーや住民有志の参加により解決に向けて行動していく方針です。

お知らせ

主催：ベイタウンマネジメント円卓会議

円卓会議成果報告まちづくりシンポジウム

「どうする？ なにする？ わたしたちのベイタウン」

■日時 2013年 1/19 (土) 13:30~16:30

■場所 ベイタウンコア音楽ホール

■内容 2012年8月に実施した全世帯住民アンケート集計結果の報告のほか、将来のベイタウンの住民主体のまちづくりに向けた「子どもたちによるまちづくり発表」、ゲストを交えたセッションを予定しています。是非ご来場ください！

■ゲスト 芝浦工業大学大学院システム工学部 講師 平井 充 氏
千葉大学大学院工学部工学研究科建築・都市科学専攻中山研究室 教授 中山 茂樹 氏
千葉市立海浜打瀬小学校長 引地 清人 氏
NPO法人千葉まちづくりサポートセンター 理事 泉 宏佳 氏
千葉市美浜区長 土屋 稔 氏

<発行責任者>

ベイタウンマネジメント円卓会議 代表 遠山 孝行

<お問い合わせ先>

ベイタウンマネジメント円卓会議事務局

幕張ベイタウン協議会 bt-machi@yahoogroups.jp (事務局長辻宛)

幕張ベイタウン協議会ホームページ: <http://www.bt-machi.com/>

千葉市美浜区地域振興課地域づくり支援室 043-270-3122